

令和七年六月第三回人吉市議会定例会の開催に当たり、市政に対する所信の一端を申し上げる機会を与えていただきましたことに、心から厚くお礼を申し上げます。

今回、全国市議会議長会において表彰されました、宮原将志議長並びに川上紗智子議員におかれましては、心からお祝いを申し上げます。これまでの御尽力に深く敬意を表しますとともに、今後益々の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

今年は、戦後八十年という大きな節目を迎えます。我が国は、先の大戦により多くの尊い命が失われ、特に将来を担う若者がその犠牲となりました。戦争を知らない世代が大多数となった今、私たちが今日享受している豊かで平和な暮らしは、こうしたかけがえのない尊い犠牲と、平和と戦後復興に向けた先人達の弛まぬ努力の上に築かれていることを決して忘れてはなりません。

戦後八十年という節目は、平和の尊さを再認識し、次世代へその思いを確実に継承していくための、極めて重要な契機であると強く感じております。

本市には、市民の皆様から語り継がれてきた貴重な戦争体験をまとめた体験談集を、市図書館や市内小中学校に所蔵しております。これらの資料を活用し、戦争の悲惨さを決して風化させることなく、二度と戦争を繰り返さないという強い決意を新たに作る機会を設けてまいります。

引き続き、各部署の主な施策等について、時間をいただき述べさせていただきます。

青井地区における避難路整備につきましては、現在、権利者との補償協議を進めており、青井地区内第十七号線の一部は、年内に工事着手できるように準備を進めているところです。中心市街地地区における土地区画整理事業につきましては、造成工事を終えた箇所から、権利者へ宅地の引渡しを行っております。また、避難路整備は、山田川堤防道路線や紺屋町地内第六号線の詳細設計が完了し、熊本県施行の山田川広域河川改修事業と連携しながら、補償協議を進めてまいります。

続きまして、今年三月に取りまとめました、まちなかブランドデザイン推進アクションプランを踏まえた社会実験でございます。

中川原公園は現在、日常利用を想定し試験的に開放しています。今後、国による護岸工事のため社会実験は九月末で一旦終了しますが、その後も民間事業者等と協力し、大橋歩行者天国などのイベントを通じた社会実験を予定しています。

また、鍛冶屋町公園展示室「世界一小さな美術館 Chobit」では、本市にゆかりのある本の寄贈を募集し、展示します。観光客や市民の皆様にも人吉の歴史や文化の魅力を伝え、地域への理解を深めていただきたいと考えています。

さらに、人吉城跡では、四季の自然や歴史的景観を楽しみながら安全に回遊できるように球磨川へ下りる回廊整備の社会実験を計画しています。また、夜間照明をまちなかの各エリアで実施し、夜間景観の向上や地域の賑わいづくりにつなげてまいります。

加えて、青井阿蘇神社から球磨川までをつなぐ参道の整備に向け、道路の歩行者専用化や球磨川へ下りる階段等の設置を行う予定です。

以上の社会実験につきまして、皆様からいただいた御意見や実験結果は、関係機関と連

携しながら整備や運用に活かしてまいります。

続きまして、式典及び催事関連でございます。

令和二年七月豪雨災害から五年を迎えるに当たり、今月二十九日に、市役所において追悼式を執り行います。当日は、御参列の皆様を代表して地元高校生から追悼のことばをいただく予定としております。また、多くの市民の皆様にお参りいただけると、献花台を設置いたします。御遺族をはじめ、来庁される皆様にも献花いただき、犠牲者への追悼とともに、豪雨災害の記憶と教訓を共有する大切な機会としてまいります。

令和二年七月豪雨災害により被災した人吉城歴史館は、来る七月十一日にリニューアルオープンする運びとなりました。これまで復旧に御尽力いただいた工事関係者の皆様をはじめ、国・県など関係機関の皆様にご感謝申し上げます。今後は、史跡人吉城跡のガイダンス施設としての役割をさらに高めるとともに、展示内容の充実を図り、歴史学習のサポートや歴史文化情報の発信に取り組みます。新しく生まれ変わった歴史館が、多くの観光客や市民の皆様にとって、訪れるたびに新しい発見や感動が広がる、魅力あふれる場所となるよう努めてまいります。皆様の御来館を心からお待ちしております。

人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868は、今年で開館十周年を迎えました。今後も、より多くの皆様楽しんでいただけるよう、更なる施設の充実に向けてまいります。

また、これに関連する鉄道関係でございますが、現在、隣接するSL人吉の動態展示に向けた準備を進めています。レールを約二十五メートル延長するとともに、大型コンプレッサーを搭載し、圧縮空気により走行できるよう車両改修を行う予定です。十一月十六日に開催予定の「鉄道フェス」において、お披露目できるよう取り組んでまいります。子どもから大人まで幅広い世代が鉄道の魅力を存分に体感できる一日になるよう準備を進めてまいります。

続きまして、その他の施策について御説明いたします。

今年度から庶務事務システムと文書管理システムを導入し、運用を開始しました。市役所内のペーパーレス化が進み、紙文書の削減や情報管理一元化による職員の負担が軽減され、市民サービスなどの業務に充てられる時間が増える見込みです。今後も自治体DXを推進し、新しい技術の力を活用して市民サービス向上に取り組む、市民の皆様の御期待に沿えるよう努めてまいります。

次に、子ども・子育て支援策として、養育費の取り決めを行うひとり親家庭に対し、養育費の継続的な履行を確保するため、「人吉市養育費確保支援事業補助金交付要項」を制定いたしました。今後は、養育費に関する公正証書等の作成や養育費保証契約の締結に必要な経費について助成を行い、養育費に関する相談支援の充実・強化を図るとともに、ひとり親家庭の生活の安定と、子どもたちがより安心して日々を過ごせるような施策を鋭意推進してまいります。

次に、「住みなれた地域でいきいきと輝ける長寿を楽しむまち」の実現に向け、今年度から新たに「人吉元氣くらぶ」を開始します。この事業は、より多くの方に御参加いた

けるよう、ショッピングセンターの一角を活用して介護予防教室を開催するとともに、教室まで自力で通うことが困難な地区の高齢者の方々に対して送迎サービスを行うものです。今年度は、モデル事業地域を選定し、教室への参加と、日常生活用品の買い物の機会を組み合わせることで、心も体も健やかに保ち、生活の質の向上を目指します。新しい出会いや発見が生まれるこの活動を通じて、地域の皆様がこれまで以上に充実した毎日を過ごせるよう、全力でサポートしてまいります。

観光振興につきましては、観光客の誘致や観光施設の活性化を目的に、昨日、六月一日から「ひとよし観光応援！宿泊割キャンペーン」を開始しました。本キャンペーンでは、観光目的の旅行者を対象に、宿泊料金の割引と、お土産やアクティビティ体験に利用できるクーポンをセットで販売しております。今年度は熊本デステイネーションプレキャンペーン期間に当たり、国内外からの誘客につながるよう、観光コンテンツの磨き上げや新たな旅行商品の造成など、人吉球磨地域が選ばれる旅行先となるよう積極的に取り組んでまいります。

また、今年四月から開催されております大阪・関西万博を契機とし、インバウンド観光客の増加、滞在時間の延長、再訪率の向上を目指す独立行政法人日本芸術文化振興会の「令和七年度 日本博2・0を契機とする文化資源コンテンツ創成事業」に、「球磨焼酎・日本遺産人吉球磨インバウンド誘致プロジェクト」が採択されました。本事業では、球磨焼酎と日本遺産人吉球磨の構成文化財を核とし、旅行商品の造成や石野公園焼酎館の魅力向上・多言語化、インバウンド向けの球磨焼酎案内人講座の実施、「人吉球磨の玉手箱里帰り展」の開催、日本遺産構成文化財の多言語化・コンテンツ化に加え、歴史的建造物などでの特別体験の提供といった、多様な取組を展開してまいります。

次に、子どもたちの多様な学びの機会を創出し、「ひと・もの・こと」に対する興味・関心を高め、学びの意欲向上や可能性を広げるため、子どもと家族が一緒に価値ある体験を楽しめる「人吉くまなびの日」実施要項を定めました。この制度は、児童生徒が保護者とともに校外で体験的な学習活動を行う場合、欠席扱いとしないというもので、二学期からスタートします。この制度を有効活用し、文化・芸術・自然・スポーツなど、様々な学びにつながる機会を設けていただくことを期待しています。